

「内部監査基準」が内部監査に与える影響についての実態調査へのご協力をお願い

2008年に内部統制報告制度（J-SOX）が導入されてから17年が経過しました。また、2015年の会社法の改正により監査等委員会設置会社制度が創設され、これに伴い委員会設置会社の名称が指名委員会等設置会社に変更され、機関設計の選択肢が多様となりました。さらにはコーポレートガバナンス・コードの策定・改訂も行われております。近年の国内における内部統制やコーポレートガバナンスを強化する取り組みの一環で、内部監査機能を充実させる日本企業も顕著に見られております。そのような状況の下、2024年には内部監査人協会（IIA）は「グローバル内部監査基準」を公表し、2025年1月より適用することとしました。

そこで日本監査研究学会では課題別研究部会「内部監査基準の研究」部会を設置し、日本企業の内部監査活動の最新の状況を明らかにすること、特に、内部監査の基準に焦点を当て、日本内部監査協会による現行の「内部監査基準（2014）」、IIAの内部監査に係るかつての基準である「内部監査の専門職的实施の国際基準-2017年版-」、前出の「グローバル内部監査基準」が内部監査に及ぼす影響を明らかにすることを目的に、アンケートによる実態調査を実施することといたしました。

質問は全部で44問、回答に要する時間の目安は15分です。内部監査部門の部門長もしくは部門長の立場で内部監査人の方がお答えください。なお、本アンケートで得た情報は、厳重に保管し、上記の目的以外での使用はいたしません。第三者に提供することもございません。

本調査の結果のフィードバックは、本年9月に開催される日本監査研究学会第48回全国大会（日本大学）で発表、ならびに日本内部監査協会のホームページにて動画配信（無料）させていただく予定です。

ご協力の程、何卒、よろしくお願い申し上げます。

2025年5月吉日

日本監査研究学会

課題別研究部会「内部監査基準の研究」部会

部会長 武田 和夫（共立女子大学）

Q6 リニューアルされた国際基準である「グローバル内部監査基準」の各ドメインについて A) どの程度関心がありますか？ また、B) 最も重視するドメインは I ~ V の中で何ですか？

A) ドメイン I ~ V のそれぞれについて、どの程度関心がありますか？

① ドメイン I : 内部監査の目的

1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
まったく関心 がない			どちらともいえない			かなり関心がある

② ドメイン II : 倫理と専門職としての気質

1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
まったく関心 がない			どちらともいえない			かなり関心がある

③ ドメイン III : 内部監査部門のガバナンス

1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
まったく関心 がない			どちらともいえない			かなり関心がある

④ ドメイン IV : 内部監査部門の管理

1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
まったく関心 がない			どちらともいえない			かなり関心がある

⑤ ドメイン V : 内部監査業務の実施

1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
まったく関心 がない			どちらともいえない			かなり関心がある

B) 最も重視するドメインを一つ選んでください。

1. ドメイン I, 2. ドメイン II, 3. ドメイン III, 4. ドメイン IV, 5. ドメイン V

CIA () 人

CISA () 人

CFE () 人

内部監査士 () 人

金融内部監査士 () 人

システム監査技術者 () 人

その他 (自由記述) ()

Q14 A) 内部監査部門の組織上の報告先は誰ですか？ また、B) 報告先が誰か内部監査規程 (定) で定められていますか？

A) 報告先は誰ですか？

1. 社長, 2. 取締役会, 3. 内部監査担当取締役, 4. 常務会・経営会議等, 5. 監査役・監査等委員・監査委員
6. その他 (自由記述) ()

B) 報告先が誰か内部監査規程 (定) で定められていますか？

1. はい 2. いいえ

Q15 A) 内部監査規程 (定) の改訂 (作成を含む) の最終承認は誰が行いますか？ また、B) 誰が最終承認を行うか内部監査規程 (定) で定められていますか？

A) 誰が最終承認を行いますか？

1. 社長, 2. 取締役会, 3. 内部監査担当取締役, 4. 常務会・経営会議等, 5. 監査役・監査等委員・監査委員
6. その他 (自由記述) ()

B) 誰が最終承認を行うか内部監査規程 (定) で定められていますか？

1. はい 2. いいえ

Q16 A) 内部監査計画 (年度計画) の最終承認は誰が行いますか？ また、B) 誰が最終承認を行うか内部監査規程 (定) で定められていますか？

A) 誰が最終承認を行いますか？

1. 社長, 2. 取締役会, 3. 内部監査担当取締役, 4. 常務会・経営会議等, 5. 監査役・監査等委員・監査委員
6. その他 (自由記述) ()

B) 誰が最終承認を行うか内部監査規程 (定) で定められていますか？

1. はい 2. いいえ

Q17 内部監査部門の予算（年度予算）の最終承認は誰が行いますか？ また、B) 誰が最終承認を行うか内部監査規程（定）で定められていますか？

A) 誰が最終承認を行いますか？

1. 社長, 2. 取締役会, 3. 内部監査担当取締役, 4. 常務会・経営会議等, 5. 監査役・監査等委員・監査委員
6. その他（自由記述）（ ）

B) 誰が最終承認を行うか内部監査規程（定）で定められていますか？

1. はい 2. いいえ

Q18 内部監査人の独立性および/または客観性に関して、内部監査規程（定）で定められていますか？

1. はい 2. いいえ

Q19 内部監査人の能力（例：資格、職歴、経験など）に関して、内部監査規程（定）で定められていますか？

1. はい 2. いいえ

Q20 内部監査規程（定）を変更したことはありますか？

1. はい 2. いいえ 3. 不明

Q21 Q20 で 1. はい を選んだ場合、直近の改訂はいつ行われましたか？ また、その理由は何ですか？

直近で改訂した年：西暦（ ）年

改訂した理由：（ ）

Q22 今後、内部監査規程（定）を改訂する予定はありますか？ 1. はい を選んだ場合、その理由はなんですか？

1. はい 2. いいえ 3. 検討中

1. を選んだ場合、改訂する理由（ ）

Ⅲ. 貴社の内部監査部門の評価

Q23 内部監査部門の主な業績評価の指標（KPI）は何ですか？

1. 監査指摘事項の改善率, 2. 年間監査計画に対する進捗率, 3. 被監査部門からの評価,
4. 業績評価の指標（KPI）は明確になっていない
5. その他（自由記述）（ ）

Q24 内部監査部門の業績評価の指標（KPI）として最も客観的なものは何だと思えますか？

1. 監査指摘事項の改善率, 2. 年間監査計画に対する進捗率, 3. 被監査部門からの評価,
4. その他（自由記述）（ ）

Q25 内部監査の品質評価における定期的自己評価（内部評価）を実施することが、内部監査規程（定）で定められていますか？

1. はい 2. いいえ

Q26 内部監査の品質評価における定期的自己評価（内部評価）を、直近で実施したのはいつですか？ 実施していないのであれば、その理由は何ですか？

- ・ 直近の定期的自己評価（内部評価）の実施時期（ ）年度
- ・ 実施していない場合の理由：（ ）

Q27 内部監査の品質の外部評価を実施することが、内部監査規程（定）で定められていますか？

1. はい 2. いいえ

Q28 内部監査の外部評価を、直近で実施したのはいつですか？ 実施していない場合は、その理由は何ですか？

- ・ 直近の外部評価の実施時期（西暦 ）年頃
- ・ 実施していない場合の理由：（ ）

Q29 内部監査部門では、監査業務に必要な人的資源を確保できていますか？

- | | | | | | | |
|------------------|----|----|-----------|----|----|----------------|
| 1. | 2. | 3. | 4. | 5. | 6. | 7. |
| まったく確保
できていない | | | どちらともいえない | | | 十分に確保でき
ている |

Q30 内部監査部門では、監査業務に必要な予算を確保できていますか？

- | | | | | | | |
|------------------|----|----|-----------|----|----|----------------|
| 1. | 2. | 3. | 4. | 5. | 6. | 7. |
| まったく確保
できていない | | | どちらともいえない | | | 十分に確保でき
ている |

Q31 内部監査部門では、監査計画の策定や変更、監査意見の形成について、経営陣やその他部門から、不当な影響を受けたことがありますか、あるいは以前不当な影響があったことを見聞きしたことがありますか？

1. はい 2. いいえ

Q32 内部監査部門の能力や公正不偏な職務を脅かす要因は、現在、存在していますか？

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.
まったく存在 どちらともいえない かなり存在する
しない

Q33 子会社がある場合、その子会社に内部監査部門があるかないかに関わらず、子会社に対する内部監査は実施されていますか？

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.
まったく実施 ある程度（中程度） 十分実施され
されていない 実施されている ている

Q34 内部監査部門が以下の業務に費やす時間の比重をお答えください。（A+B+C+D=100%になるように記入をお願いします。）

A. J-SOX 評価 A. () %
B. 経営者のためのサポート B. () %
（例：業務監査、内部統制や効率・効果的な経営管理のアドバイス等）
C. 取締役会・監査役（会）などのためのサポート C. () %
（例：健全なガバナンスの確立）
D. その他 D. () %
その他とは具体的に何か？（自由記述）（ ）

Q35 内部監査のプロセスの中で経営者による不正の兆候をみつけた場合、内部監査部門が行う対応の手順は決まっていますか？ また、B) 決まっている場合、その対応手順は内部監査規程（定）で定められていますか？

A) 対応の手順は決まっていますか？

1. はい, 2. いいえ

B) その対応の手順は内部監査規程（定）で定められていますか？

1. はい 2. いいえ

IV. 貴社の内部監査人の評価

Q36 内部監査人は自らが過去 1 年以内に担当していた業務に関して、アシュアランス業務を行ったことがありますか？

1. 行ったことがある 2. 行ったことがない

1. を選んだ場合、その理由は何ですか？（回答例：内部監査人が足りない）

()

Q37 内部監査人は、内部監査以外の役割や職責を有していますか？

1. 有していない 2. 有している

2. を選んだ場合、どんな役割や職責ですか？（回答例：監査役スタッフ）

()

Q38 内部監査人の客観性が損なわれる状況（業務への直接関与、便宜供与、接待など）が発生した場合の報告・対応手順は決まっていますか？

1. 決まっている 2. 決まっていない

Q39 監査対象部門と内部監査人の意見が対立した場合、どのように解決・報告するかが明確になっていますか？

1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
まったく明確に なっていない			どちらともいえない			かなり明確に なっている

Q40 内部監査人が専門職としての懐疑心を持ち、客観的な立場から監査を実施する内部環境は整っていますか？

1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
まったく整って いない			どちらともいえない			かなり整って いる

Q41 内部監査人の専門能力を維持・向上するための研修制度は整っていますか？

1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
まったく整って いない			どちらともいえない			十分整って いる

